

ン分析センター) 杉山淳一

- ⑥ 超偏極 Xe-NMR 法による炭素材料の細孔解析 (新日本製鐵先端研) 齋藤公児
- ⑦ アルカリ性溶離液を用いた逆相クロマトグラフィーによるアニオン性ポリマーに含まれる添加剤の分析 (日立化成総合研) 海野晶浩
- ⑧ 標準ポリマーを用いた DIOS-MS 用プレートの性能評価 (産総研環境管理) 清野晃之
- ⑨ 熱分解と NMR 法の組合せによるアクリル樹脂分析法の検討 (旭化成) 大槻 暁
- ⑩ MALDI-TOFMS を用いたエポキシ樹脂の硬化機構解析 (東レリサーチセンター) 野田明日香

来年の開催場所は名古屋の予定であるが、本討論会は近年特に多種・多様となってきた高分子を対象とする分析手法について、分析法の実用的側面について議論を深めることができる国内では貴重な会となっており、今後も一層活発な活動が期待される。なお、講演要旨集に残部がありますので実費 (3,000 円) にて販売いたします。希望の方は衣笠晋一実行委員長 (s.kinugasa@aist.go.jp) までご連絡ください。

[住友化学工業(株)筑波研究所 岡田明彦]

第 322 回高分子分析研究懇談会

標記例会が 2004 年 2 月 3 日 (火) 簡易保険会館「ゆうぼうと」で開かれた。講演とワークショップがそれぞれ 2 件あり、活発な質疑応答が行われた。参加者は約 40 名であった。

最初に、平田幸夫氏 (豊橋技科大) より、「超臨界流体クロマトグラフィーにおける周辺技術の開発」と題しての講演があった。超臨界流体クロマトグラフィー (SFC) は、超臨界流体を移動相に用いる分離手法で、GC 法では分離が困難な不揮発成分の分離が可能であり、また LC 法よりも分離能やカラム効率に優れているといった特徴を持つ。本講演では、二酸化炭素を移動相として用いたキャピラリー SFC に関して、分離効率を上げるための装置の工夫や、安定的に検出するための UV 検出器の構造などの装置のノウハウをはじめ、分離例が詳細に紹介された。

続いてワークショップが行われた。今回は、昨年 11 月に行われた第 8 回高分子分析討論会において、参加者の好評を得た発表の中から 2 件が選ばれた。1 件目は、松元 洋氏 (工学院大学) の「温度勾配相互作用クロマトグラフィーによるポリマーの分離」の発表であった。温度勾配相互作用クロマトグラフィー (TGIC) は、昇温または降温を伴う液体クロマトグラフィーであり、高分子分離の新たな手法として注目されている手法である。今回は、順相系 TGIC によるポリスチレンの分離について、カラムの種類や溶離液系の違いによる分離挙動の違いについて紹介された。

ワークショップの 2 件目は、石田康行氏 (名古屋大) の「超臨界メタノール分解を利用する紫外線硬化樹脂のネットワーク構造解析」の発表であった。紫外線硬化樹脂は、硬化すると不溶不融の架橋体を形成するため、従来の手法では、その化学構造の詳細な解析は困難である。今回の発表では、超臨界

メタノール分解と MALDI-MS を組み合わせた分析法による解析結果を中心に、従来の反応熱分解 GC 法による結果との比較についても紹介された。

最後に、新村典康氏 (日本電子データム) より、「天然樹脂のキャラクタリゼーションと歴史的工芸品の塗膜同定」と題して講演が行われた。漆やカシュー樹脂、乾性油などの天然樹脂は、塗料や接着剤として多くの歴史的工芸品に用いられてきた。しかし、これまでこれらに対する有効な分析手法が確立されていなかったため、重合機構や詳細な構造は明らかではなかった。今回の講演では、熱分解 GC-MS 法を用いて漆の産出地域による構造や熱分解機構の違い、歴史的出土品塗膜の分析例などが紹介された。

[(株)東ソー分析センター 香川信之]

掲 示 板

第 45 回科学技術映像祭入選作品発表会

貴重な日本の最新科学技術映像を紹介します。製作会社、企業、テレビ局、研究機関等の出品作品から、内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞受賞 15 作品を一挙公開します。

- ◇日程: 4 月 15 日 (木)・16 日 (金) (入場料無料)
- ◇会場: 科学技術館・サイエンスホール (千代田区北の丸公園 2-1)
- ◇交通: 地下鉄「竹橋」駅・「九段下」駅徒歩 7 分
- ◇問合せ先: 日本科学技術振興財団振興部 (電話: 03-3212-2454, URL = <http://ppd.jsf.or.jp/shinko/pro/s-m/index.htm>)

国立環境研究所 公開シンポジウム 2004

- ◇メインテーマ: 「国立環境研究所の 30 年一天・地・人と向き合って」
内容: 講演 7 件及びポスターセッション
- ◇日時・会場
〈東京会場〉
 - ・日時: 6 月 23 日 (水) 10 時~17 時
 - ・会場: メルパルクホール
〈京都会場〉
 - ・日時: 6 月 30 日 (水) 10 時~17 時
 - ・会場: ばるるプラザ京都
- ◇申込方法: 参加御希望の方は、参加希望会場、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレスを明記のうえ、下記あてに、はがき、FAX 又は E-mail にてお申し込みください。参加費は無料です。
- ◇問合せ先: 国立環境研究所 公開シンポジウム 2004 登録事務局 (〒107-8476 東京都港区赤坂 4-9-17 赤坂第一ビル 4F (株)インターグループ内、電話: 03-3479-6003, FAX: 03-